

**第 67 回日本心血管インターベンション治療学会
関東甲信越支部 運営委員会議事録**

日 時：2026 年 5 月 9 日（土）13：40～14：20

会 場：大手町サンケイプラザ 4F『ホール』（第1会場）

出席者：161 名

欠席：81 名

議 題：

1. 第 67 回地方会会長挨拶（藤本善英先生 / 会長代理 千葉大学 北原秀喜 先生）

会長代理の北原先生より、現時点の参加者数が例年ベースであること、また、予算についても例年通りの集客があれば、黒字収支になるとの報告がなされた。

また、ご協力いただいた先生、参加者の先生方に対してお礼が述べられた。

2. 運営委員について

① 新運営委員

【承認】

2024 年 10 月～2025 年 9 月の推薦者について、正式承認された。

1	飯塚 大介	千葉西総合病院
2	皆月 隼	東京大学医学部附属病院
3	新村 大輔	横浜市立市民病院
4	飯田 大輔	イムス葛飾ハートセンター
5	石原 龍馬	河北総合病院
6	サッキヤ サンディエロ	河北総合病院
7	大場 祐輔	自治医科大学
8	土井 信一郎	順天堂大学医学部附属順天堂医院
9	陣内 博行	自治医科大学附属さいたま医療センター
10	山本 慶	自治医科大学附属さいたま医療センター
11	土山 高明	東京都立広尾病院
12	岡田 興造	横浜市立大学附属市民総合医療センター
13	大塚 文之	横浜市立大学医学部
14	小徳 のぞみ	聖マリアンナ医科大学
15	中西 啓太	つくばセントラル病院
16	谷地 織	東京新宿メディカルセンター
17	桑田 真吾	聖マリアンナ医科大学
18	辻田 裕昭	昭和医科大学医学部
19	小嶋 啓介	日本大学医学部附属板橋病院
20	深町 大介	日本大学病院
21	小林 範弘	済生会横浜市東部病院

② 連続欠席者について

【報告】

連続欠席の先生方について、報告がなされた。

③ 発表がない施設について

【報告】

※直近3年以内に発表が無い施設

・社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院

- ・しらすきクリニック
- ・茨城県厚生農業協同組合連合会 JAとりで総合医療センター
- ・東京日暮里たんのハートクリニック
- ・羽生総合病院

④ 異動報告について

【報告】

運営委員会出欠確認の際に7名の委員の異動が確認された。

⑤ 退任について

【承認】

申し出があった9名と2025年度定年2名について審議された。

- | | | |
|---|-------|---------------|
| 1 | 大塚 雅人 | 荻窪病院 |
| 2 | 河村 朗夫 | 国際医療福祉大学医学部 |
| 3 | 北林 浩 | 伊那中央病院 |
| 4 | 佐野 剛一 | ららぽーと新三郷内科小児科 |
| 5 | 中村 智弘 | さいたま市民医療センター |
| 6 | 新居 秀郎 | 筑波記念病院 |
| 7 | 細川 丈志 | 葛西昌医会病院 |
| 8 | 水村 泰祐 | 河北総合病院 |
| 9 | 米山 暁 | 関越病院 |

●2025年度定年 籠島 充（上越総合病院）／木村 一生（西埼玉中央病院）

・定年規定については、本会規定が65歳未満のため、対象の先生は支部より連絡が入ることが周知された。

⑥ 運営委員推薦について

【承認】

2025年10月以降の推薦9名について審議された。

- | | | |
|---|--------|---------------------|
| 1 | 星 智也 | 国際医療福祉大学成田病院 |
| 2 | 西山 茂樹 | 埼玉石心会病院 |
| 3 | 武中 宏樹 | SUBARU健康保険組合 太田記念病院 |
| 4 | 戸倉 通彰 | 足利赤十字病院 |
| 5 | 渡部 浩明 | 筑波大学 |
| 6 | 那須野 暁光 | 立川総合病院 |
| 7 | 大塚 龍彦 | 板橋中央総合病院 |
| 8 | 沼尾 嘉美 | 板橋中央総合病院 |
| 9 | 小田切 久八 | 伊那中央病院 |

3. 第66回（2025/10/10-11 会長：伊藤良明先生）地方会会計報告

参加人数が多く、さらにライブの完全WEB化や機材費等のコストを抑えたことにより、黒字収支であることが報告された。

→運営委員を対象としたアンケートも好意的なご意見であったことが報告されたが、視聴者が300名程度と伸び悩んでいるため、運営委員の先生方には東京ライブの参加増に向けて活動をお願いする旨、周知された。

ライブ実行委員会にて周知の手段としてSNSを利用する案が出されたが、地方会単位では難しいという意見もあるため、本会広報委員会主導についても検討が必要である。

（SNSに精通した先生がいらっしゃれば情報提供いただきたい）

4. 2026年度予算・2025年度支部会計の承認について

【承認】

5. 地方会予算（第 69 回）の承認について

【承認】

6. 今後の地方会開催について

【報告】

- 第 68 回（2026/10/9-10 会長：新家俊郎先生）
→若い先生に参加していただくため、教育的なプログラムを企画できるよう鋭意準備中であることが報告された。

・東京ライブは PCI、EVT は生ライブ、SHD はビデオライブと生ライブ、TAVI も含めて考えており、昭和医科大学と湘南鎌倉総合病院にもお願いしている。
・ハンズオンセミナーも岩城卓先生、河口廉先生に担当をお願いしている。
・メディカルスタッフセッションについても内容を詰めているところであり、参加が難しいメディカルスタッフさんへ、先生方からもご周知いただきたい。

先生方のご協力なくしては成功に導けないため、運営委員にご参加いただくと共に、各種役割のお願いもさせていただきたい。また、内容はこれから検討するところもあるため、是非ご意見をいただきたいとの挨拶がなされた。

- 第 69 回（2027/5/8 会長：高橋佐枝子先生）
→これから 1 年かけて先生方にご参加いただけるような企画を考えていきたいとの挨拶がなされた。
- 第 70 回（2027/10/8-9 会長：山口淳一先生）
→東京ライブについては、秋季大会をされた伊藤先生、新家先生に、また翌日の地方会についてはこれまでの大会長の先生方に相談しながら進めていく旨、挨拶がなされた。
- 第 71 回（2028 春 会長：石井秀樹先生）
- 第 72 回（2028 秋 会長：日比潔先生）
- 第 73 回（2029 春）
→大会長について審議されたが、次回の幹事会にて選出が少ない新潟・長野より大会長の選出を行う方針であることが説明された。

7. 規約改定について

【承認】

昨年度に運営委員の定員を増員、定年・施設あたりの 3 名までと人数を決め、幅広く運営委員になっていただく方針であることが説明された。
また、既に 3 名以上の施設については退任する必要はないが、新規の推薦は差し控えていただくよう周知された。

改定前	改定後
第 4 章 役員	
第 6 条 本支部は次の役員をおく。 (1) 支 部 長 1 名 (2) 副支部長 1 名 (支部長の任意によりおくことができる) (3) 幹 事 22 名以内 (4) 運営委員 100 名以上 280 名以内 (5) 会計監事 2 名	第 6 条 本支部は次の役員をおく。 (1) 支 部 長 1 名 (2) 副支部長 1 名 (支部長の任意によりおくことができる) (3) 幹 事 22 名以内 (4) 運営委員 100 名以上 280 名以内 (1 施設につき 3 名以内) (5) 会計監事 2 名

参考；3名以上の施設

4名	自治医科大学附属さいたま医療センター 東京蒲田病院 横須賀市立総合医療センター	
3名	昭和医科大学藤が丘病院 千葉西総合病院 東京都済生会中央病院 東京ベイ・浦安市川医療センター 東京山手メディカルセンター	東邦大学医療センター大橋病院 虎の門病院 日本医科大学付属病院 三井記念病院

8. メディカルスタッフ部会報告

①助成金を支給した研究会（2025.10～2026.4）

【報告】

- ・第8回千葉メディカルスタッフ研究会（2/11）
- ・第20回／21回 栃木県カテテル室スタッフ研究会（5/30、26年秋）

②タスクシフト研修の報告について

【報告】

タスクシフト／シェアについては、内閣府の規制改革推進委員会と内閣府に働きかけを行っており、看護師以外でも医行為が可能な状況にしようというところである。インデフレーターに加圧、イメージング機器の操作など、法律的に問題がないということを整備するための働きかけについて、高橋佐枝子先生を中心進められている。

メディカルスタッフへの研修実績も必要であり、ITE も併せて整備をするとともにタスクシフトの研修も行っており、試験的にテルモメディカルプラネックスにて研修会を行ったが、非常に好評であった。

参加者は臨床工学技士、放射線技師が多かったが、情報交換が難しく、やっていることが正しいのか確信が持てないことがあり、講習会をもって全国的な質の均てん化とレベルアップが図れる。西日本は神戸に同様の施設があるため、年2回 本部管轄にて同日程で行う方針となったことが報告された。

9. 本部からの報告

- 循環器内科医の処遇改善について
→循環器内科に若手が入りにくい状況、救急医療が危機的状況であることは厚労省も理解を示していただいている。
処遇改善に向けて日本循環器学会と協力して活動を行っていることが報告された。
- 専門医認定医制度審議会について（委員長 石井秀樹先生）
→4/19 専門医試験へのご協力に対してお礼の言葉が述べられた。
来年以降、筆記試験会場は東京と関西に集約されるため、先生方にご協力をお願いすることがあることについて周知された。
- レジストリ小委員会について（副委員長 石井秀樹先生）
→実技試験は前年の9～12月が範囲となるが、その時期 J-PCI に登録していない（または承認済までされていない）事例がある。受験資格がなくなるため、留意いただきたい。

・脳卒中と循環器病第三次計画に J-PCI が大きく取り上げられている。非常に有用とのことで登録いただかないと、専門医の更新、研修施設・関連施設の更新に影響がでることになる。

これまで AUDIT は石井先生が無償で個別に出向していたが、負担が大きく、業者に発注することになった。今後は費用がかかるため、各先生方には確実にレジストリの登録をいただき、専門医、施設基準の移行にご協力をいただくよう周知された。

10. その他

なし

以上